

メトロポリタン史学会 秋季シンポジウム

歴史における人の移動とネットワーク

人はどのように移動するのか

日時：2005年11月26日（土曜日）10：00～18：00

会場：首都大学東京 国際交流会館大会議室（参加無料）

（京王相模原線南大沢駅下車徒歩15分）

・ 午前の部（10：00～12：20）

山田昌久（首都大学東京・東京都立大学）

移送路の整備、土木技術者の移動、建築資材の移送 日本古代～近世
における人の集中と木造都市構築を考古学から考える

森山央朗（東京大学大学院）

10～12世紀西アジアにおける伝承学者の旅と知識の流通

亀長洋子（学習院大学）

中世ジェノヴァ人の移動と定住 キオスの事例を中心に
（昼休み）

・ 午後の部（13：30～16：40）

川合康（東京都立大学）

中世武士の移動の諸相

清水有子（東京都立大学大学院）

16世紀スペインの太平洋探検航海と東アジア

（休憩）

帆刈浩之（川村学園女子大学）

近代広東人移民のビジネスと慈善

北村暁夫（日本女子大学）

ファシズム期におけるイタリアからフランスへの

亡命者と移民の生活世界

（休憩）

・ 全体討論（17：00～18：00）

メトロポリタン史学会 <http://www.geocities.jp/metropolitanshigaku/>

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

首都大学東京 都市教養学部人文・社会系国際文化コース歴史・考古学分野内